

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主文化事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します					
		副目的	15-2									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	様々なジャンルの一流の演奏家・アーティストを招聘し、本格的で良質な芸術文化にふれる機会を提供することにより、市民の芸術文化への関心を高める。										
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主文化事業(21,507千円) 市民会館、各市民センターで年間8公演程度自主文化事業を実施。クラシック・子ども向け・落語など様々なジャンルの公演を開催した。職員は、企画、プロモーターとの契約、PR活動、チケット販売、公演会場・ボランティアの手配・タイムスケジュールを含めたコンサート管理、来場者の対応などの運営を行った。 ①和洋楽器アンサンブル・リベルタ和太鼓奏者アート・リージョイントコンサート(味噌市民センター)②クミコ アコースティックコンサート2013 小牧(東部市民センター)③ノントン うたってあそぼう!(東部市民センター)④駒来寄席(北里市民センター)⑤優秀映画鑑賞推進事業(市民会館)⑥ワークショップと実演で楽しむ能楽の世界(まなび創造館)⑦中部フィル交響楽団第24回定期演奏会(市民会館)⑧綾戸智恵コンサート2014(市民会館)⑨東日本大震災復興支援チャリティー(市民会館)を実施した。⑤は会館と協力しチラシ配布やチケットの印刷を行い、当日の運営は市民団体が行った。 ・舞台芸術祭(453千円) 舞台芸術文化の振興のため、市内で活動する公募の演劇団体とミュージカル劇団の3団体の発表を合わせて舞台芸術祭として実施した。 ・自主文化事業鑑賞友の会事業(856千円) 自主文化事業の鑑賞の機会を通して、会員相互の交流及び芸術・文化の向上に寄与することを目的とし、自主企画のコンサートを2事業及び研修会を実施した。 ・子ども夢・チャレンジ事業(2,771千円) 子どもたちが地元で家族や友人とふれあい、故郷に愛着を持つことを目的に様々な催しを実施した。 ・市民劇開催委託料(8,907千円) 小牧山と織田信長との関わりを音楽・ダンス・演劇等の舞台芸術を通じて、小牧の魅力を発信することを目的に出演者を募集し市民劇を実施した。 ・旅費(58千円) ・需用費(1,713千円) ・役務費(178千円) <p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小牧山城築城450年事業を継続させ、年間を通じて子どもを対象とした事業やワークショップ、市民劇で結成された小牧戦国少女隊の活動を支援する。 ・自主文化事業(21,770千円) ・自主文化事業鑑賞友の会(865千円) ・子ども夢・チャレンジ事業(3,000千円) ・旅費(38千円) ・需用費(2,332千円) ・役務費(606千円) 										
	受益者負担	有	自主文化事業入場料					10,464,700円				
		自主文化事業鑑賞友の会会費					1,000円×315人=315,000円					

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	22,362	23,660	36,443	28,611	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,315	1,315	1,315	1,315
		その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	795	888	755	755
	費用合計	千円	24,472	25,863	38,513	30,681		
対前年比	%			105.6	148.9	79.6		
財源	一般財源	千円	17,955	14,078	27,734	17,872		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	6,517	11,785	10,779	12,809		

業 績	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
	公演回数	回	目標		7	7	8	8
			実績		7	8	9	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
入場者数	人	目標		5,500	5,000	6,000	5,000	
		実績		4,779	6,113	5,184		
自主文化事業への来場者の割合	%	目標		70.0	70.0	70.0	70.0	
		実績		46.0	62.0	55.0		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	入場者数が達成できなかった要因のひとつには、2回公演の子ども向け事業を市民会館で実施しなかったこともあるが、来場者の割合も目標には届かなかった。しかしながら、さまざまなジャンルの事業を実施し、本格的で良質な鑑賞の機会を提供することができた。				
		事業実施における課題	来場者の割合は、目標達成には道のりが遠いので、将来的な民間委託も視野に入れながら内容の選択と高い集客力を図るための調査・研究が必要である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	身近な施設において、気軽に一流の演奏家やアーティストによる文化芸術鑑賞の機会を提供することができなくなり、文化芸術の振興に支障をきたす。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	こども夢・チャレンジ事業の中で開催する舞台芸術発表は、これまでの演劇やミュージカルだけでなく歌やダンス等、他の分野についても発表の機会をつくる。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	文化芸術の分野は多岐に亘るので、市民ニーズを反映させるために市民と協働して継続して実施する。また、自主文化事業の実施には、専門的な知識が必要となるため専門家を導入するなどの工夫が必要である。					
	27年度以降の改善案	事業費(コスト)と受益者負担のバランスを再検討するとともに来場者の増加を図るため、より要望の多い事業内容の選択と実施事業に対する支持層を考慮した効率的・効果的な周知方法を検討する必要がある。自主文化事業の選択・企画・開催について、民間委託等も視野に入れながら団体の自主的な活動を伸長し、芸術文化の振興を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 将来的な民間委託等を視野に入れ、受け皿となる団体の育成を検討すること。